

令和元年度 第4回大島区地域協議会 次第

日 時：令和元年7月30日（火）
午後2時から
場 所：大島コミュニティプラザ2階
市民活動室1

開 会

1 挨拶

2 報告

(1) 地区別懇談会の結果について

資料No.1

3 協議

(1) 地域協議会委員視察研修について

4 その他

(1) 第5回地域協議会の開催日について

【開催日：___月___日、開催時間___時から】

閉 会

令和元年度 大島区地区別懇談会 質疑応答

■ 開催日時及び参加者等

- ・ 菖蒲地区：菖蒲農村環境改善センター
日 時：6月26日（水） 15：00～ 参加者：住民8人（職員12人）
- ・ 保倉地区：大島若者交流館
日 時：7月1日（月） 18：30～ 参加者：住民13人（職員14人）
- ・ 大島地区：大島生活改善センター
日 時：7月3日（水） 19：00～ 参加者：住民19人（職員12人）
- ・ 旭地区：大島旭農村環境改善センター
日 時：7月8日（月） 18：30～ 参加者：住民12人（職員12人）

■ 報告事項及び質問・要望など

- 次期総合公共交通計画について P1～P2
- 令和元年度大島区の主な事業について P3
- 令和元年度地域活動支援事業について P4
- 「スーパーやまざくら店」の経営状況について（質疑なし）
- 大島保健センターの休止について P4
- 消防団の適正配置について P5
- 総合事務所の時間外受付（案）について P6～P7
- その他（停電について） P8
- その他（干ばつ被害の対応・支援策について） P8
- その他（災害箇所の復旧について） P9
- その他（その他） P10
 - ・ 地域振興・活性化について
 - ・ 防災行政無線放送後の異音について
 - ・ 避難所と土砂災害危険区域指定について
 - ・ 大島生活改善センターの屋根の安全性について

◆次期総合公共交通計画について

| 内 容 | 会場での回答 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 大島区のバスの見直しについて、もう少し具体的に教えていただきたい。 <p>【菖蒲地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 当区の見直し案であるが、通学に合わせた運行便について検討している。 理由としては、子どもの駅までの送迎は家族がされており、実際のバスの利用は年に5回程であるため、これを減便したいと考えている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 当区はスクールバス混乗型であるが、子ども（通学者）がいなくなっても、これまでどおり運行できるのか。 <p>【菖蒲地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおりであるため、改めて確認させていただく。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 人口減少も影響し、バスの利用者が減っているにも関わらず、従来通りの大型バスを運行させることに疑問を感じていた。 また、大型バスが法定速度で走り、バス停で停まった場合、後続車にも影響を及ぼすため、バス事業者においても中型あるいは小型バスの導入・運行を検討すべきである。 バスの小型化により重量税なども軽減されることから、多面的に検討してほしい。 <p>【保倉地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> バス事業の運営上、人件費の割合が高いため、バスの小型化等による効果は少ないかもしれないが、大型バスでは乗降の大変さや一人だと利用を遠慮してしまうなどの声も伺っている。 小型バス等にした場合、費用面だけでなく、より良いサービス提供も可能となるため、事業者と協議していきたい。 大型バスの運行についてご意見があったが、当区ではスクールバス混乗型として29人乗りのバスを運行しており、菖蒲・旭方面の子ども達の送迎を考えると小型バスでは対応が難しい。 なお、スクールバスには1台あたり5百万円の普通交付税による財政措置もあり、予算上は当区のバス2台分の運行費用に年間約1千5百万円を要しているが、市の実質的な負担は5百万円になる。財政負担の軽減にもつながっていることをご承知いただきたい。 |

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大平線、東西ルートの利用の状況を教えてほしい。 ・大平線、東西ルートの利用がほとんどない中で旭線を延伸する理由は何か。 <p style="text-align: center;">【大島地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・資料にあるとおり、大平線は1便当たり3.8人、東西ルートは0.4人であるが大島区内の利用がない状態である。 ・大島区のバス利用を総合事務所や診療所、駅までの運行として見込みたいこと、また長者島に中学生がいることから、利便性を考えて青空市場前までの延伸が適当と思われる。 |

◆令和元年度大島区の主な事業について

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国道253号沿いでも除草剤を散布している箇所がある。 ・これまで市道や広域農道などは地域が協力して草刈りを行ってきたが、高齢化に伴い、年々作業が困難になっている。 ・道路全域とは言わないが、作業が難しいので除草剤の散布を認めてほしい。 <p style="text-align: center;">[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市では原則として、除草剤の使用は認めていないものの、安塚区でも同様の声をいただいております、中山間地域での草刈りの困難性は認識している。 ・今後、直ちに対応することは難しいが、現実に見合った取扱いとなるよう、ご意見があったことを含め、報告させていただきます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・道路の確認や補修は適宜していただいているが、車では気付かない細い亀裂もあり、お年寄りの方が押し車で歩行中に車輪が亀裂に引っかかり躓きそうになったとの苦情を受けた。 ・総合事務所には報告済であるが、市道管理にあたっては、高齢者目線でのパトロールをお願いしたい。 <p style="text-align: center;">[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市道に関しては、業者と職員の双方によるパトロールを行っているが、すべての箇所を把握するのは難しいのが現状である。 ・そのため、気付いたことがあれば総合事務所まで連絡をいただきたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・第5期中山間地直接支払制度に引き続き取り組むかどうか迷っている人が多い。制度に関して気になるところも多いため、早い段階で説明の機会を設けてほしい。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・第5期の要綱ができるのはまだ先になる見込みだが、第4期の内容に基づき7月下旬以降から、各町内会で説明会を行っていきたい。 ・詳細が決まるのは来年に入ると思われるが、各町内会で話し合った結果を基に、最終的な参加の意思決定を行うことになるかと思う。 |

◆令和元年度地域活動支援事業について

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 8の「よんご提灯まつり事業」の記載内容だと、達町内会の祭りが大島夏まつりに吸収されたかのように読み取れてしまう。 ・ 毎年9月には町内会の祭りとして続けており、誤解を招く書き方ではないかと感じたところである。 <p style="text-align: center;">[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当事業の申請団体にも確認し、掲載したところであるが、今後は誤解を招かぬよう、十分に気を付けたい。 |

◆大島保健センターの休止について

| 内 容 | 会場での回答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所の設置についてお聞きする。 ・ 保倉地区は、大島小学校と上達の2か所のみであるが、町内会ごとに避難所を設けることはできないのか。 ・ 併せて、休止する大島保健センターを避難所にするにはできないのか。 <p style="text-align: center;">[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所の設置に関しては、地域との調整を行い、所管課である危機管理課が指定している。 ・ 町内ごとに分散させた場合、避難所が増えることに伴い職員配置も困難になる可能性もあり、当面は現状維持になるかと思う。 ・ 保健センターは休止に伴い、電気・ガス・水道がすべて供給停止となるほか、施設自体の老朽化も進んでおり、電源が1か所しかないことから、避難所としては不適切であると考えます。 |

◆消防団の適正配置について

| 内 容 | 会場での回答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の再編については、アンケートを基に考えられていると思われる。 ・再編そのものは、今後、話し合いが行われると思われるが、ポンプ操法協議会や上越市消防点検などは不要との回答が多い。それらは今後も継続するのか。 <p style="text-align: center;">[菖蒲地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の消防団活動における行事・研修のアンケートのうち、不要と回答があったものは、今後の検討の中で議論されていくと思われる。 ・今程のご指摘も含め、協議の際の参考とさせていただきます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の再編や時間外受付の見直しに行政の意向は取り入れていないのか。 ・消防団の再編については、消防団を主導に行うと、町内会や住民の意向とは別に、消防団だけで話が進むことが懸念される。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の見直しは消防団が中心となって行ったものであるが、必要があれば総合事務所で調整し、町内会と消防団で話し合いが進むよう取り計らいたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・時間外受付の見直しにも係るが、旭地区では、再入団の団員をOB団員としているが、火災発生メールが送信されないと聞いている。 ・当地区ではOB団員が初期消火を行うルールがあり、防災行政無線がなくなり、メールも送信されないことになると、火災の発生に気付かず、初期消火が間に合わない事態も考えられる。 ・また、山火事や小規模火災についてもメールが入るのか。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・再入団の消防団員に消防団メールの登録を部長を通じ、徹底する。 ・芝火災や車両火災も含め、すべての火災発生について、情報が入るようになっている。 |

◆総合事務所の時間外受付(案)について

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の一斉放送は行わないとの説明であったが、大島方面隊の全団員への説明や話し合いは予定しているのか。 <p style="text-align: center;">[菖蒲地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では消防団員には正式な説明はしていない。 ・なお、現状の仕組みでは火災等の周知においては、メールでの通報が最も早く、一斉放送を行う際にも数分のタイムラグがあり、放送内容についても苦情が寄せられている。 ・そのような背景を含め、メールでの受発信を主にしていく考えである。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の廃止については、不安を感じており、消防団員の出動はもちろんのこと、町内会の活動(町内会員の安全確保や団員への炊き出し等)に影響を及ぼす。 ・従来どおり、各総合事務所で対応すべきではないか。 <p style="text-align: center;">[菖蒲地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として真摯に受け止めるが、この場で結論が出せる内容ではないため、他の意見等もお聞きしながら、今後、検討していく。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の廃止については、納得ができない。 ・特に火災発生の場合は、避難や初期消火に支障が出ないか不安である。 ・安全メールでは、当地域に関係がない情報が入るほか、携帯を持たない人にとっては情報が得られないので、代替にはならないと思う。 <p style="text-align: center;">[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲地区でも同様の意見があった。 ・見直し案では安全メールの活用を想定しているが、あくまで現時点での案であることから、いただいたご意見を課題として報告させていただく。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線を廃止し、安全メールを活用することは、市民の安心安全を謳っている割には不親切な対応ではないかと思う。 ・高齢者は携帯を持たない方も多くおられるため、防災行政無線は継続してもらいたい。 <p style="text-align: center;">[大島地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他地区でも同様の声をいただいております。危機管理課及び自治・地域振興課に伝えていきたい。 |

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・火災発生のお知らせは番地で入ってくるが、番地だけでは火災発生場所の特定が難しいため、屋号や世帯主名まで通知することはできないのか。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現状では、火災発生後、消防本部から総合事務所に番地で情報が入ってくる仕組みになっているが、現場の特定ができるような連絡方法が必要と考える。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・見直しにより宿直がいなくなる場合、災害発生時の職員体制はどうなるのか。 ・時間外に登庁する職員が防災無線を使って放送することはできないのか。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・災害警報発令時は、当番の職員が出勤することになっている。 ・ただし、火災発生時には、当直が継続する総合事務所から当区の消防担当へ連絡が入るが、メール通知での確認が一番早いことから、安全メールの活用をお願いしたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・時間外受付が廃止となった場合、選挙の期日前投票の受付時間も併せて変わってくるのか。 <p style="text-align: center;">[旭地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・見直しに伴って選挙の受付時間が変わる予定はない。 ・ただ、夕方以降の実績が少ないことから、終了時間の見直しをする可能性は考えられる。 |

◆その他（停電について）

| 内 容 | 会場での回答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・このところ停電が頻繁に発生し、1時間を超える停電も2回程続けて発生している。 ・停電の理由が分からず、地域住民も不安に感じていることから、原因を突き止め、せめて町内会長には正式に報告いただきたい。 <p style="text-align: center;">[菖蒲地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの停電の原因は様々であり、我々も原因把握に努め、東北電力等に確認しているが、不明な点もある。 ・明確な原因を把握するため、改めて東北電力に申し入れをしていきたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・先日の停電発生の際に、防災行政無線による放送がなく、不安に思った。 <p style="text-align: center;">[大島地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の発生でもあり、職員が登庁し、東北電力のHP等で情報収集を行ったが、正確な情報を得るのに時間を要してしまい、お知らせができなかったものである。 ・東北電力には、HPの表示は丁寧かつ正確にするようお願いをしたところである。 |

◆その他（干ばつ被害の対応・支援等について）

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の干ばつ被害の対応については賛否があったものの、今年も同様の被害の発生が予想される。 ・昨年度の対応を含め、今年度も対応策や支援策は考えているのか。 <p style="text-align: center;">[菖蒲地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・干ばつ被害があった翌年は、水田の水持ちが悪くなる状況は承知しているが、現時点では説明できる支援策等はないのが現状である。 ・他の皆さんの意見もお聞きしながら、それらを基に木田担当課と調整していきたい。 |

◆その他（災害箇所の復旧について）

| 内 容 | 会場での回答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市道道田線の復旧に際し、被災した法面の復旧だけでよいのか疑問がある。 ・崩れた箇所だけでなく、両脇も含めてもう少し広範囲を工事しないと十分ではないように思う。 ・また、排水にも不備があるように思うので、考慮すべきではないか。 <p style="text-align: center;">【大島地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・既存法面にすり合わせる形で、被災箇所のみ、工事をする予定であるが、工事着工後、現地を確認しながら進めていきたい。 ・今回崩壊したのはフレームのわきが先に崩壊し法面が不安定となったため、フレームの重さで自壊したと考えている。 ・また、排水については、工事着工時確認しながら対応したい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国道403号の工事の進捗状況についてお聞きしたい。 <p style="text-align: center;">【大島地区】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国道403号については、3月に地すべりが起こり、県で調査を行っているが、通行時の安全確保に向け、当面通行止めとしている。 ・夏頃を目途に工事着工の予定と聞いている。 |

◆その他(その他)

| 内 容 | 会場での回答 |
|--|--|
| ◇地域振興・活性化について | |
| <ul style="list-style-type: none"> 先日上越市の研修として、採用2年目の職員と石橋集落住民で意見交換をする機会があったが、充実した話し合いができてよかった。これを機会に今後つながりを大事にしていきたいと思った。 <p>[大島地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> 職員にとってもよい経験になったと思う。今後も石橋集落の皆様と交流をする機会があれば、より良い経験となるので参加させていきたいと考えている。 |
| ◇防災行政無線放送後の異音について | |
| <ul style="list-style-type: none"> 昨今、防災行政無線の放送終了後に聞こえる異音(雑音)が気になっている。 以前はなかったと思うので、雑音にならないよう対策をお願いしたい。 <p>[保倉地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ご指摘の件については、受信機の電波を遮断する作動音であるため、ご理解をいただきたい。 なお、この作動音は設置当初からあったはずであるため、ご承知いただきたい。 |
| ◇避難所と土砂災害危険区域指定について | |
| <ul style="list-style-type: none"> 緊急避難所に指定されている大島地区生涯学習センターに掲げてある災害種類ごとの指定表では、土砂災害のところが「×」になっている。 県のHPに掲載されている、土砂災害警戒区域の指定図では、建物は指定範囲から外れている。 また、記憶にある限りでは土砂災害の発生はなく、また住民の間では周辺施設のうち、最も安全な場所と認識されているが、なぜ危険区域であるのか疑問に感じている。 <p>[大島地区]</p> | <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害危険区域は県で指定するものである。指定後には、住民とのワークショップを通して危険地帯や避難経路の確認を行った経緯がある。 正確なところはこの場でお答えできないため、後日確認し、改めて連絡させていただきたい。 |
| ◇大島生活改善センターの屋根の安全性について | |
| <ul style="list-style-type: none"> 大島生活改善センターの屋根が傷んでおり、崩落する危険があるため、対策をお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 注意喚起の表示を行うとともに、今年度に予算要求を行い、適切に処置できるようにしていきたい。 |

| | |
|--------|--|
| [大島地区] | |
|--------|--|

令和元年度大島区地域協議会視察研修計画（案）

【目的】

全国的に「少子高齢化・過疎化」による課題が顕在化する中、中山間地域のみならず地域の今後の在り方や取組の維持・継続に向けた検討、地域住民の意識醸成が必要となっている。

本視察研修では、農業振興のほか様々な取組を展開している「柿崎区」と、地域おこし協力隊導入実績の高い「十日町市室野集落」を訪問し、それぞれの先進事例や取組等を学び、見聞を広める。

【日時】令和元年8月30日（金）

【視察先・意見交換先】

■柿崎区中山間地域農業振興会 会場：水野集落センター（柿崎区水野414-1）

【概要】 柿崎区中山間地域農業振興会は、中山間地域等直接支払交付金に係る集落協定を締結している12集落で構成され、各集落協定が抱える課題に対する支援策のひとつとして、2名の地域おこし協力隊を導入している。さらに水野、下牧、平沢では3集落に特化した別の地域おこし協力隊の導入も検討している。水野では共同でソバ栽培の取組み、下牧ではドイツ人の建築デザイナーによる古民家再生の取組み、平沢は無居住集落となったが、ほ場整備の計画を進めている。

■十日町市室野集落 会場：室野克雪センター（十日町市室野4286）

【概要】 現在90世帯、将来を見据えて、「助け合いの輪」を広げていくことを目的に、地域おこし協力隊と連携し、平成29年に「室野集落安心づくりの会」を立ち上げ、集落全体で除雪支援に取り組む。

【日程（予定）】

12:20 大島区総合事務所 出発

13:00 柿崎区水野集落センター 着

※柿崎区中山間地域農業振興会会長、水野町内会長、下牧町内会長、曾田直人氏（水野町内会）、地域おこし協力隊エミリオ隊員および小田切隊員との意見交換

14:30 柿崎区水野集落センター 発

15:10 大島区総合事務所 着（休憩5分）

15:35 十日町市室野克雪センター 着

※室野集落区長、副区長、前区長、地域おこし協力隊OB石渡さんとの意見交換

16:35 十日町市室野集落 発

16:55 大島区総合事務所 着